

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 ヒューマンホールディングス株式会社
コード番号 2415 URL <http://www.athuman.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 朋也
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画担当 (氏名) 川下 裕左

TEL 03-6846-8002

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	35,750	△2.5	916	△0.7	1,018	7.9	669	121.9
23年3月期第3四半期	36,671	△19.1	922	△51.0	944	△49.9	301	△81.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 678百万円 (119.7%) 23年3月期第3四半期 308百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	6,150.93	—
23年3月期第3四半期	2,771.61	2,771.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	20,487	4,737	23.1
23年3月期	22,203	4,138	18.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,736百万円 23年3月期 4,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	500.00	500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,274.00	1,274.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,888	4.3	873	△13.2	906	△13.4	692	170.3	6,369.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	109,872 株	23年3月期	109,872 株
24年3月期3Q	1,089 株	23年3月期	1,089 株
24年3月期3Q	108,783 株	23年3月期3Q	108,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要もあり緩やかな回復基調をみせているものの、海外経済の減速や急速な円高による企業収益悪化が懸念されるなど、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、人材関連業界におきましては、企業の雇用情勢が回復基調であるものの、海外景気の下振れによりわが国の景気が下押しされるリスクが存在し派遣需要の回復が遅れ、依然として厳しい状況で推移しております。教育業界におきましては、少子化の影響によりマーケットは縮小傾向にあります。介護業界におきましては、高齢化の進行により引き続きマーケットは拡大しておりますが、介護スタッフの確保が問題となっております。

このような状況において、当社グループは、人材関連事業の再構築と教育事業の構造転換を重点的に取り組み、介護事業は新規開設を推進いたしました。また、新たな取り組みとして東京都の認証保育所を新規開設いたしました。

以上の結果といたしまして、当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に人材関連事業と教育事業の減少により前年同四半期比2.5%減の35,750百万円となりました。経常利益は前年同四半期比7.9%増の1,018百万円となりました。四半期純利益については、前期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う損失がなかったことにより、前年同四半期比121.9%増の669百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 人材関連事業

人材関連事業におきましては、厚生労働省職業安定局から発表された「専門26業務派遣適正化プラン」に対して厳格に取り組んだこと、及び顧客企業による派遣需要の抑制等により、人材派遣の売上は減少いたしました。業務受託分野においてはメディカル分野と就職支援などの行政関連を中心に売上は増加いたしました。また、人材紹介の売上も増加いたしました。

主な取り組みとして、マーケットのニーズに迅速に対応するため、各分野に専門特化した営業体制を整備いたしました。また、顧客企業の人材ニーズと登録者の求職ニーズを的確に捉えるマッチング部門を各営業部に配置し、企業のニーズから成約に至るまでのスピードアップを図りました。

この結果、人材関連事業の売上高は前年同四半期比3.9%減の20,096百万円、営業利益は前年同四半期比37.3%増の143百万円となりました。

② 教育事業

教育事業におきましては、通信講座、ライセンスビジネス等のコンテンツビジネスや講座受託を推進することにより収益の向上に努めましたが、景気の先行きの不透明さからくる消費マインドの低迷により依然として厳しい状況が続きました。

社会人教育事業では、通信講座の販売が好調に推移した一方、通学講座の受講生数は減少いたしました。また、新たな試みとして、フリーレッスン制の導入を行いました。

全日制教育事業では、総合学園ヒューマンアカデミーの本科部門在校生数が増加いたしました。震災の影響により日本語学校の在校生数は大幅に減少いたしました。

事業所につきましては、カルチャースクールとしてヒューマンアカデミーカルチャースクール上大岡校（神奈川県）を新規開設いたしました。

この結果、教育事業の売上高は前年同四半期比2.6%減の10,383百万円、営業利益は前年同四半期比17.8%減の449百万円となりました。

③ 介護事業

介護事業におきましては、堅調なマーケットニーズに対応し、重点的に経営資源を投下しております。

デイサービスセンターにおいては、定員の充足率の向上に努めるとともにサービス向上とコンプライアンスを徹底することを目的とした研修を実施いたしました。

事業所につきましては、デイサービスセンターとして堀越（愛知県）、かすが（岡山県）、明石の湯・宝塚の湯（兵庫県）を新規開設し、フランチャイズ展開も1ヶ所の加盟店を新規開設いたしました。

この結果、介護事業の売上高は前年同四半期比14.5%増の4,312百万円、営業利益は前年同四半期比77.2%増の181百万円となりました。

④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業におきましては、幼児・小学生向けの英会話・ロボット・理科実験教室の加盟校が増えた結果、受講生数が増加いたしました。

この結果、フランチャイズ事業の売上高は前年同四半期比28.2%増の223百万円、営業損失は64百万円（前年同四半期は73百万円の営業損失）となりました。

⑤ その他

ネイルサロン運営事業におきましてはネイリストの技術向上を図り、施術時間の短縮により生産性の向上に努めました。

プロバスケットボールチーム「大阪エヴェッサ」の運営におきましては、スポンサー収入とチケット売上が減少しました。

この結果、その他の事業の売上高は前年同四半期比36.8%減の735百万円、営業損失は1百万円（前年同四半期は27百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、20,487百万円となり、前連結会計年度末の22,203百万円から1,715百万円減少いたしました。

流動資産につきましては、15,417百万円となり、前連結会計年度末の16,968百万円から1,550百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1,234百万円、売掛金が201百万円減少したことによるものです。また、固定資産につきましては、5,070百万円となり、前連結会計年度末の5,234百万円から164百万円減少いたしました。

次に、負債合計は、15,750百万円となり、前連結会計年度末の18,064百万円から2,314百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、13,314百万円となり、前連結会計年度末の15,323百万円から2,009百万円減少いたしました。これは主に、前受金が2,102百万円減少したことによるものです。また、固定負債は2,435百万円となり、前連結会計年度末の2,740百万円から305百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が333百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、4,737百万円となり、前連結会計年度末の4,138百万円から598百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が589百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における売上高は、おおむね計画通りに推移しました。利益面につきましては、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに計画を上回りました。

今後の事業展開においても、グループ一丸となって収益の拡大に努めてまいります。介護事業において先行投資による費用の増加やフランチャイズ事業及びスポーツエンタテインメント事業において計画からの遅れが見られることと、外部環境が依然不透明な状況であり人材関連事業へ影響を及ぼすなどの懸念があります。

このような状況を勘案した結果、現時点では、平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期通期連結業績予想から修正を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,444,794	9,209,946
売掛金	5,146,064	4,944,404
有価証券	199,920	199,981
商品	254,256	265,863
貯蔵品	82,986	31,286
その他	845,527	770,158
貸倒引当金	△4,961	△3,955
流動資産合計	16,968,588	15,417,684
固定資産		
有形固定資産	2,561,721	2,522,063
無形固定資産	287,427	286,977
投資その他の資産		
差入保証金	1,579,494	1,533,941
その他	857,853	747,085
貸倒引当金	△51,627	△19,929
投資その他の資産合計	2,385,719	2,261,096
固定資産合計	5,234,868	5,070,137
資産合計	22,203,457	20,487,822
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,453	177,396
短期借入金	790,000	359,977
1年内返済予定の長期借入金	1,591,760	1,650,660
前受金	8,019,411	5,917,174
未払金	3,326,586	3,652,734
未払法人税等	156,293	194,473
賞与引当金	244,451	149,168
資産除去債務	205	205
その他	1,072,623	1,212,888
流動負債合計	15,323,785	13,314,679
固定負債		
長期借入金	2,249,260	1,916,140
役員退職慰労引当金	283,904	300,220
資産除去債務	95,048	101,514
その他	112,678	117,850
固定負債合計	2,740,892	2,435,726
負債合計	18,064,677	15,750,406

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299,900	1,299,900
資本剰余金	809,900	809,900
利益剰余金	2,092,406	2,682,001
自己株式	△66,291	△66,291
株主資本合計	4,135,914	4,725,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,233	△13,820
為替換算調整勘定	16,275	24,961
その他の包括利益累計額合計	2,041	11,140
少数株主持分	823	766
純資産合計	4,138,780	4,737,416
負債純資産合計	22,203,457	20,487,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	36,671,586	35,750,113
売上原価	26,621,818	25,853,547
売上総利益	10,049,767	9,896,565
販売費及び一般管理費	9,126,802	8,980,203
営業利益	922,964	916,361
営業外収益		
受取利息	2,698	2,045
受取配当金	72	16,026
金銭の信託運用益	20,966	15,935
補助金収入	72,089	85,164
その他	81,281	74,117
営業外収益合計	177,107	193,289
営業外費用		
支払利息	49,555	35,717
投資有価証券評価損	10,500	28,070
為替差損	25,333	17,741
消費税差額	55,384	—
その他	14,988	9,650
営業外費用合計	155,762	91,180
経常利益	944,310	1,018,470
特別利益		
固定資産売却益	—	1,652
投資有価証券売却益	6,906	—
特別利益合計	6,906	1,652
特別損失		
固定資産除却損	5,707	1,187
固定資産売却損	—	3,307
投資有価証券評価損	125,762	2,316
減損損失	6,724	—
貯蔵品評価損	—	59,026
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	197,957	—
特別損失合計	336,152	65,837
税金等調整前四半期純利益	615,064	954,285
法人税等	314,808	284,725
少数株主損益調整前四半期純利益	300,255	669,559
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,248	443
四半期純利益	301,503	669,116

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	300,255	669,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,059	413
為替換算調整勘定	13,668	8,685
その他の包括利益合計	8,608	9,098
四半期包括利益	308,864	678,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310,112	678,214
少数株主に係る四半期包括利益	△1,248	443

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	人材関連事業	教育事業	介護事業	フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,912,308	10,655,300	3,765,996	174,229	35,507,834	1,163,751	36,671,586
セグメント間の 内部売上高又は振替高	25,984	120,303	3,206	3,356	152,851	157,429	310,281
計	20,938,292	10,775,603	3,769,203	177,586	35,660,685	1,321,181	36,981,867
セグメント利益又は損失(△)	104,558	546,679	102,451	△73,474	680,215	27,305	707,520

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツエンターテインメント事業、ネイルサロン運営事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	680,215
「その他」の区分の利益	27,305
セグメント間取引消去	6,990
各セグメントに配分していない全社損益(注)	208,453
四半期連結損益計算書の営業利益	922,964

(注) 主として持ち株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	人材関連事業	教育事業	介護事業	フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,096,064	10,383,283	4,312,061	223,282	35,014,690	735,422	35,750,113
セグメント間の 内部売上高又は振替高	41,520	192,681	1,575	3,481	239,259	137,831	377,091
計	20,137,584	10,575,965	4,313,637	226,763	35,253,950	873,253	36,127,204
セグメント利益又は損失(△)	143,577	449,141	181,573	△64,230	710,062	△1,327	708,734

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツエンターテインメント事業、ネイルサロン運営事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	710,062
「その他」の区分の利益	△1,327
セグメント間取引消去	2,001
各セグメントに配分していない全社損益（注）	205,626
四半期連結損益計算書の営業利益	916,361

（注）主として持ち株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。